

びいぶる

- P. 2～3 ……議案審議（第1回臨時会・6月定例会・陳情）
- P. 3 ……議案等に対する議員の態度
- P. 4～5 ……議会報告会・広聴会について
- P. 5～9 ……市政のここが聞きたい（一般質問）
- P.10 ……議会中継、9月定例会予定、新委員紹介



表紙の説明

5月に開催した議会報告会・広聴会には、多くの参加をいただき、誠にありがとうございました。予定時間では終わらず、時間を延長することになり、活発な質疑がなされ、貴重なご意見等を多くいただきました。こうしたことをしっかりと受け止め、よりよい高浜の未来づくりに努めてまいります。

編集 広報・広聴委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/gikai/index.html>

第1回 高浜市議会臨時会

平成28年第1回高浜市議会臨時会が5月18日、会期1日間の日程で開催されました。

議会の人事として、正副議長の辞職及び選挙、各委員会委員の選任、衣浦衛生組合議会議員の選挙、衣浦東部広域連合議会議員の選挙などを行いました。

議長には杉浦敏和議員、副議長には浅岡保夫議員が選任されました。

主な議案の概要は、次のとおりです。なお、議案等の件名及び採決の結果はP.3の「議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

議案

■議案第41号

教育長からの申し出を受け、教育長の給料の月額を10%減額して支給する特例を定めるもの。

■議案第42号

教育長からの申し出を受け、平成28年度の教育長の期末手当の支給割合を0.2月分引き下げる特例を定めるもの。

■同意第4号

同意

議会選出監査委員の柳沢英希議員の辞職に伴い、新たに議会選出監査委員として、柴田耕一議員を選任するもの。

6月定例会

議案審議

平成28年6月高浜市議会定例会が6月10日から29日までの20日間の会期で開かれました。

主な議案の概要は、次のとおりです。なお、議案等の件名及び採決の結果はP.3の「議案等に対する各議員の態度」をご参照ください。

議案・補正予算

■議案第43号

公職選挙法施行令の一部改正に伴い、議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成等に要する経費に係る公費負担の限度額を改定するもの。

■議案第44号

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の課税限度額等を改定するもの。

■議案第45号

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき、個人番号を利用する事務として、母子家庭等医療費の支給に関する事務ほか1事務を、新たに追加するもの。

■議案第46号

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

■議案第47号

地方公務員災害補償法施行令の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うもの。

■議案第48号

こども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い、市立幼稚園の授業料の減免について、所要の規定の整備を行うもの。

■議案第49号

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ2,457万8千円を追加し、予算の総額を144億2,197万8千円とするもの。

○歳出（主な増額要因）公共施設あり方計画推進事業の勤労青少年ホーム跡地活用検討業務委託料643万7千円。防災活動事業527万4千円。

■議案第50号

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ6,787万1千円を追加し、予算の総額を144億8,984万9千円とするもの。

○歳出（主な増額要因）高浜エコハウス事業の高浜市商工会移転改修工事費1,199万3千円。経営近代化支援事業の高浜市商工会等物件移転補償費5,587万8千円。○債務負担行為（追加）高浜市商工会館建設費補助金5,700万円。高浜小学校等整備事業52億500万円。

陳 情

平成28年6月定例会では、2件の陳情が審議されました。なお、件名と採決の結果はP.3の「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

【陳情第7・8号反対意見】

- ・ 当市の入札は制度、法令を遵守し、適正な入札が行われているので必要ない。
- ・ 産業振興条例が制定され、地域の特性を生かした産業振興を実施している。
- ・ 当市の臨時職員の給料は、正規職員初任給相当額に地域手当相当額を加えて算出し、適正な額である。
- ・ 公共サービスを全て正規職員で賄うと費用がかさむので、適材適所の採用がいい。市場原理が働く領域で民営化・民間委託等を行っている。

- ・ 安全保障関連法は、他国からの武力攻撃の抑止が目的である。自衛隊の武力行使は、日本が武力攻撃を受けたのと同じ、深刻・重大な被害が及ぶ場合に限られる。戦争するとの批判は、無責任で根拠がない。

【陳情第7・8号賛成意見】

- ・ 安全保障関連法は憲法違反として反対の世論が大きく、権力者を縛るという立憲主義にも反している。
- ・ 最低賃金引上げは、労働者の4人に1人が年収200万円未満のワーキングプアで、労働力が都市部へ流れ、より地域経済が疲弊し、一律時給1,000円以上とすることが喫緊の課題である。報道では大企業の内部留保が増え、実質賃金が下落し、結婚したくない人が増えている原因が、低所得という声が非常に多いといわれている。

議案等に対する各議員の態度		会派名	市政クラブ										公明党	日本共産党	市民クラブ	開拓志	大塚たけまう	
			鈴木勝彦	北川 人	杉浦 敏和	杉浦 辰夫	幸前 信雄	柴田 耕一	浅岡 保夫	柳沢 英希	神谷 利盛	杉浦 康憲						小野田由紀子
種類/番号	件名	議員氏名	結果 ○ = 賛成・同意 ● = 反対・不同意															
※ 議=議案 同=同意 陳=陳情																		
第1回臨時会 議案等			結果 ○ = 賛成・同意 ● = 反対・不同意															
議第41号	高浜市特別職の職員で常勤のものの特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	高浜市特別職の職員で常勤のものの特例に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同第4号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会 議案等			結果 ○ = 賛成 ● = 反対															
議第43号	高浜市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第44号	高浜市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第45号	高浜市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第46号	高浜市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第47号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第48号	高浜市立幼稚園授業料徴収条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第49号	平成28年度高浜市一般会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第50号	平成28年度高浜市一般会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会 陳情			結果 ○ = 賛成 ● = 反対															
陳第7号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●
陳第8号	憲法をいかして働く者の権利を守り、住民生活の向上、平和施策の充実を求める陳情	不採択	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●

※ 第1回臨時会の幸前信雄議員、及び6月定例会の杉浦敏和議員は議長職のため、表決権はありません

議会報告会・広聴会 について

去る5月14日(土)の午後2時から4時過ぎまで、中央公民館において市議会議員が全員出席し、市民に向けた議会報告会・広聴会を開催しました。

各常任委員会、特別委員会で審議された主な議案や、陳情の審議経過や内容が報告され、参加者から活発な質疑が行われました。

なお、広聴会においても同様に、市の課題について様々な御意見を頂戴しました。

アンケート集計結果

■議会報告会 参加人数21人

(単位：人数)

男 女 別		居 住 地	
男	14	青 木 町	2
女	2	春 日 町	1
無 記 入	5	呉 竹 町	2
合 計	21	小 池 町	1
年 齢		稗 田 町	1
3 0 代	2	向 山 町	1
5 0 代	4	屋 敷 町	1
6 0 代	5	湯 山 町	4
7 0 代	7	論 地 町	2
無 記 入	3	無 記 入	6
合 計	21	合 計	21
在 住 ・ 在 勤 の 別		報 告 会 へ の 参 加 回 数	
在 住	15	1 回 目	8
在 勤	3	2 回 目	3
無 記 入	3	3 回 目	1
合 計	21	4 回 目	2
どこで開催を知ったか (複数回答あり)		5 回 目	2
		7 回 目	1
広報・市議会だより	10	無 記 入	4
高浜市ホームページ	1	合 計	21
議員から聞いた	5	本日の内容は	
知合いから聞いた	1	よく理解できた	4
ポスター・チラシ	2	まあ理解できた	5
無 記 入	2	分かりにくかった	4
合 計	21	全く理解できなかった	2
		無 記 入	6
		合 計	21

■広聴会 参加人数19人

(単位：人数)

男 女 別		居 住 地	
男	10	青 木 町	2
女	0	春 日 町	1
無 記 入	9	呉 竹 町	1
合 計	19	小 池 町	1
年 齢		向 山 町	1
3 0 代	1	屋 敷 町	1
5 0 代	4	湯 山 町	1
6 0 代	2	論 地 町	1
7 0 代	4	無 記 入	10
無 記 入	8	合 計	19
合 計	19		

ご意見など

報告のあとに質疑時間を設けましたが、その場に出された質疑や、アンケートに記入された質問・ご意見が数多く出され、有意義なものとなりました。その一部をご紹介します。

後日、市議会のホームページに載せますので、そちらをご覧ください。ご意見として承り、さらなる改善努力をしております。(内容は要約してあります。)

高浜市議会に対する意見等

■高浜市議会について、このような会に初めて参加しました。私の世代はこういったところへ来る考えが少ないので、何か若い世代と呼ばれる世代にアピールできる方法を、専門家である皆さんにも考えて欲しいです。

(湯山町・男・30代)

■予算特別委員会の資料は、少なくとも総額と対前年度比を、できれば一般会計は歳入・歳出の、款別くらいは掲載しないと参加者は分からない。資料の説明に当たったページ数を添えたほうがよい。資料のどこを説明しているか分からない。

(男・50代)

■地方公共団体の議会の形骸化がいわれ久しいと思われるが、二元代表制の地方行政の中では、どうしても議会の影が薄くなり、市民との間が離れているようです。議会が市民の代表機関として十分機能するためにも、地方自治の原点である住民の意見を聞くとともに、執行部を監視することもきわめて重要です。市長が市民の代表なら、議員もそれ以上に市民の代弁者であるべきと思われます。前市長以来、本市議会では市執行部のチェックが十分になされなかったように思われますので、ぜひ政務活動費等を活用し、住民アンケート等を実施し、市民の意見を聞き、市政に反映していただきたい。

(小池町・男・70代)

ご質問

問 平成27年12月議会の議案第66号の和解について、高浜市借上公共賃貸住宅家賃滞納事件の裁判所から和解案の提示について、連帯保証人はついていなかったのでしょうか、との質問がありました。

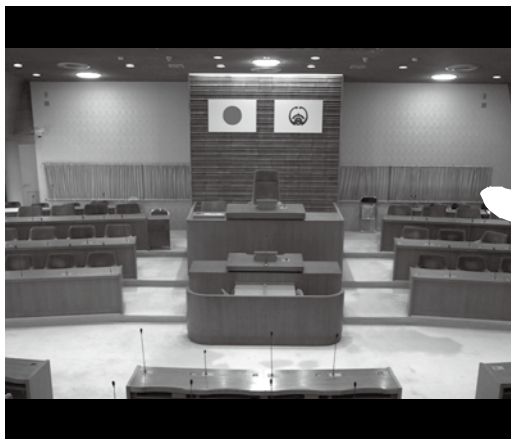
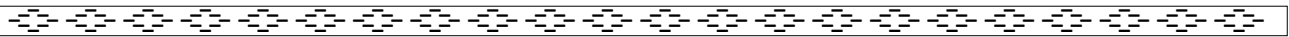
答 連帯保証人はついていましたが、この事件では、連帯保証人が届出なしの引っ越しで追跡が困難なことから、訴外となりました。

問 日本全国に公民館と公立病院は何件ありますか、との質問がありました。

答 平成25年度調査によると、全国で条例に基づき公民館を設置している市町村は、全体

の88%でした。なお、平成20年度の調査では91.4%なので、近年減少傾向です。

2014年度の総務省の資料では、全国の病院数は8,540で、公立病院は881です。公立病院の再編が進むなか、統廃合や、民間に譲渡されるケースも少なくありません。



市政の ここが聞きたい!

一般
質問

一般質問は定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。なお、掲載文は質問議員本人作成の原稿です。



杉浦康憲 議員

教育行政について

問 不登校の状況と、それに対する取り組みについて。

答 大きく2つのことに取り組んでいる。1つ目は「新たな不登校児童・生徒を出さないこと」

で、質の高い授業づくり、安心できる居場所づくり、子どもと教師、子どもと子どもが共感し合える人間関係づくりなど、児童・生徒自身が毎日の授業や学校生活を充実していると実感できる学校づくりに、力を注いでいる。同時に家庭訪問や保護者相談など、早期段階の対応で状況をしっかり把握し、適切な対策をとり、長期化を未然に防いでいる。

2つ目は「学校復帰に向けた支援対策の整備」で、市内の全ての小中学校児童・生徒が利用できるよう、「ほっとスペース」という名称の「適応指導教室」を、いきいき広場内に設置している。普通教室に入ることによる不安を感じたり、引きこもりや昼夜逆転の生活で無気力になった

りする児童・生徒のために、個に応じたきめ細やかな対応ができるようにしている。また、翼小学校と両中学校に「生徒指導加配教員」を、高浜中学校には「主幹教諭」を配置し、課題解決の中心者となって職務に当たり、適切かつ迅速に対応できるようにしている。さらに、スクールカウンセラーやこころの相談員を配置し、不登校児童・生徒が抱えるさまざまな問題に対し、精神的な面から心の支援を行っています。

問 ケータイやスマホの利用状況と、それに対する取り組みについて。

答 平成27年度中に、市内小中学校から報告された携帯電話やスマホに関する問題行動の報告件数は4件でした。トラブルを把握した場合の対応ですが、かかわった児童・生徒の全てから聞き取りを行い、内容を細かく確認したうえで、児童・生徒はもとより保護者を交えた指導を行い、家庭における今後の指導依頼をしている。また、日頃の授業でも情報モラル教育を行っている。個人情報や不用意に教えないこと、SNSの正しい利用法、ネット上でのいじめや、顔の見えない相手との関わりから起きる危険性まで、幅広く教えている。



杉浦辰夫 議員

防災行政について

問 耐震改修促進計画において、「過去地震最大モデル」ではなく、「理論上最大モデル」を掲載した理由は。

答 建物の耐震化を目的とした計画であり、直下地震の原因となりうる

「猿投・高浜断層」が通っており、建物被害を中心に想定外の事態も起こりうる考えによる。

問 学校施設における非構造部材の耐震化の取り組み状況と今後の予定は。

答 市内全小中学校体育館の非構造部材診断を実施し、昨年度より、吉浜小学校、高取小学校の落下防止対策工事を実施し、今年度は高浜中学校、港小学校。平成29年度は南中学校、翼小学校の工事实施を予定。

問 地震防災マップで、避難所のリスクを踏まえた訓練の実施の考えがあるか。

答 本年9月4日の高浜市総合防災訓練において、碧海町・二池町・田戸町にお住まいの方は、町

内会拠点に避難した後、港小学校ではなく、高浜小学校へ避難する「津波想定訓練」の実施に向け、調整を進めている。

地域共生型福祉施設「あっぽ」について

問 「あっぽ」の施設概要について。

答 認知症高齢者グループホーム、地域交流スペース、地域福祉スペース、子育て支援スペースに分かれ、認知症高齢者に加え、子どもや地域の皆さんが横断的に利用できる構造である。

問 どのような事業が実施され、市との関わりについて。

答 グループホームは、市が指定及び指導・監督の権限を持つことになり、サービスの質の確保・向上については、市が直接、適正なサービスが提供されるようにチェックする。「地域交流スペース」には、多目的広場、テラス、足湯、囲炉裏がある。「地域福祉スペース」では、総合事業の通所型サービスを実施し、宅老所と同じ機能を持つ「ふれあいサロンあっぽ」を実施し、介護予防を担う。「子育てスペース」では、子育て支援センター事業が実施され、高浜南部保育園と連携した子育て支援が行われる。



長谷川広昌 議員

人事行政について

問 市から毎年約2千万円補助金を受けている商工会の事務局長に、前総務部長がいわゆる「天下り」就職したが、市はどう考え、今後、影響はないと言い切れるか。

答 市が斡旋していないので「天下り」ではない。また、商工会に関する事は総務部ではなく、都市政策部の所管事項であるため、影響力が行使されることは考えにくい。今後の影響についても、退職管理制度における働きかけ規制や規制違反した場合の処罰についての周知をすることで、影響が出ないようにしていく。

問 商工会が入っている中央公民館の取り壊しの主導や財政、補助金等に一番権限のあった前総務部長が、今度は逆に商工会の事務局長となり、補助金等を市に要求する立場となるわけで、こういったことが、「天下り」の最大の懸念である癒着や汚職に繋がっていき、公務の公正

性・透明性を確保できなくなり、結果、市民の皆さんに疑念を抱かせることになりはしないか。

答 事務方の中では総務部長がトップであるが、市長・副市長をサポートする職であり、市長が最終決定をするので、前総務部長が商工会へ行ったからといって、市に対し過去の権限を行使できるとは考えていない。

財政運営と公共施設について

問 民間企業の手法を導入して税と行政コストの「見える化」の工夫や公共施設の建替え計画を見直すとともに、今後の公共施設のあり方の取り組みについては、市民の皆さんや関係団体等の声をしっかりと聞き、市民目線の市政運営を実践していただきたいが、いかがか。

答 発生主義・複式簿記による財務書類等を市民に対する説明や行政内部のマネジメント機能の向上に活用するとともに、公共施設マネジメント等にも活用し、財務マネジメントの強化を図りたいと考える。また、市民や利用者、関係団体等には情報提供や意見交換、協議等を行いながら公共施設のあり方の取り組みを進めていきたい。



小野田由紀子 議員

予防接種事業について

問 B型肝炎ワクチン定期予防接種事業の内容について。

答 ・本年10月より、定期接種が始まります。
・本6月議会に接種費用補正予算を計上。対象者は生後1歳までの者。

問 3歳児までの公費助成事業の実施は。

答 ・今後も定期接種が予想され、財源が必要となる。
・健康被害が発生したときの救済制度の担保が必要であり、予防接種の規定運用とする。

災害時の避難所の環境整備について

問 現在のマンホールトイレの整備状況は。

答 ・本年3月末現在での数は28基。

問 避難所における、マンホールトイレの計画的な整備について。

答 ・高浜小学校に5基のトイレ整備。
・吉浜小学校は平成33年以降、高取小学校は平

成30年の整備を予定。

男女共同参画社会の推進について

問 本市における男女共同参画社会の進捗状況について。

答 ・審議会等に占める女性委員の割合は24.8%。
・地域活動に参加した市民59.2%。内、女性60.3%。
・町内会役員に占める女性6名、9.8%。防災会議における女性委員の登用2名。
・教員では管理職が21.4%と、目標値を達成。
・児童会、生徒会役員に占める割合は59.5%と、年々増加。
・本年3月「高浜市女性活躍推進特定事業主行動計画」を策定した。

問 「女性活躍推進計画書」の策定と、今後の取り組みについて。

答 ・女性活躍推進計画の策定を、今年度着手したい。内容は、多様なライフスタイルに応じて働くことができる環境づくり、ワークライフバランスの推進に関する意識啓発。
・起業、就業支援、キャリアアップ、各種制度や相談窓口に関する情報の提供など。



黒川美克 議員

地震災害対策について

問 夜間発生時の地震災害対応・対策について。

答 時間帯別の建物被害では冬の夕方6時。人的被害では冬の深夜5時が、最も被害が甚大になると想定されている。この高浜市地震防災マップでも、

被害予測を冬の夕方6時としている。高浜市危機管理マニュアルで職員の初動態勢は、地震災害では本市に震度4の地震が発生した時は市長、副市長、教育長、全部長、防災担当職員が。また、震度5弱の地震では、主査以上の職員及び都市政策部の全職員が。震度5強以上の地震では、全職員を登庁としている。

問 災害時の復興について。

答 災害復旧は、道路、上下水道、河川等で原形復旧を基本に、改良復旧や関連事業を取り入れて行う。災害状況に応じた他公的機関の支援を受け、対応する。応急仮設住宅の建設は、災害の程度によって違い、本市では地震等により

60世帯を超える住宅等が滅失した場合や、震度6弱以上を記録して災害救助法が適用された時に、県知事の指示で建設する。建設費用の限度額は、1戸当たり平均266万円以内で平均29.7㎡を基準とし、集会施設は概ね50戸に1施設が設置可能となる。着工時期は災害発生から20日以内。着工から完成までの工期は、過去の災害から3～4週間程度が標準といわれている。

問 高浜市地震防災マップについて。

答 図書館付近が津波の浸水地域になっていないのは、地域の標高が約3mあり、港小学校周辺より50cmから1mほど高いからである。このマップは、南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき作成されており、世帯配布のほか、町内会防災訓練説明会、子ども防災リーダー養成講座を始め、各種防災行事等で職員等が説明し、市民一人ひとりの意識向上に役立てている。特に大津波警報等発令時における内陸部への避難、地震防災マップの末尾にある、わが家の防災メモの記入、食糧や飲料水等の備蓄、猿投・高浜断層に関する説明などで、災害時の自助・共助の大切さもお伝えしている。今後も様々な機会を活用して啓発等を実施したい。



幸前信雄 議員

「人材育成」について

問 高浜市の目指す職員像は。

答 平成19年に「高浜市職員成長支援計画」を策定し、目指すべき職員像として「時代の変化に対応できる柔軟性」、「新しい時代をつくる創造力」、「時代の流れを読む判断力」、「時代の流れをつかむ実行力」を併せ持った職員を掲げている。

問 高浜市の目指す職員を育てる内容は。

答 研修中心の人材育成から、「人事管理」、「職員研修」、「職場環境」を連携させ、目指すべき職員像を実現するための取り組みを総合的に実施することにした。「人事管理」では、新人事評価制度を導入し、評価基準や評価実施方法を公表し、評価結果は上司と部下との面談を通じて開示し、上司と部下のコミュニケーションを通じた組織内の意識の共有化を図った。

処遇面においても、職員のやる気を引き出す

ため、頑張った職員が処遇面で報われるよう制度を見直した。

人材の適正配置と効率的活用のため、計画的にローテーションを行い、職員の総合力を高める取り組みも行った。「職員研修」では、「全国地域リーダー養成塾」への参加、まちづくり協議会への特派員としての派遣を実施した。「職場環境」では、「職員提案制度」を行い、自主性や資質の向上に努めた。

問 ローテーション実施の弊害として考えられる、組織としての機能の保障は。

答 グループで、「グループ業務実施方針」を毎年策定し、役割や目標を明確にし、機能を保障するようにしている。

問 総合的な見方ができる人材と、専門的な見方をする人材育成は。

答 人事異動を3年から5年のスパンで実施し、幅広く知識・技術を習得させている。専門的な知識を有する人材は、10年を超えるスパンで育成している。



北川 広人 議員

学習等支援事業について

問 生活困窮家庭の子どもに対する学習等支援事業「ステップ」の成果はどうであったか。

答 昨年度の実績は、延べ人数788名、1回平均で約16名を受け入れ、学

習支援をはじめ、地域の方々との交流やキャリア教育の実施等で、様々な能力の育成ができた。参加した中学3年生の生徒全員が、各々の希望する進路に進むことができた。

問 制度として持続可能な仕組みの構築は、どのように進められたか。

答 本年4月に市民の協力を得ながら任意団体を立ち上げ、市民や市内外の企業・団体等から寄付を募り、新たに「こども食堂支援基金」を設置した。昼食の提供に必要な費用等を勘案し、協力団体に1回当たり2,000円の「奨励金」を交付することにした。また、「子ども貧困対策会議」を立ち上げ、今後さらに検討していく。

認知症予防施策について

問 「脳とからだの健康チェック2015」の実施状況について。

答 5月末時点で対象者9,716人中、3,980人が受診。受診率は41%。状況は、男性が1,740人で受診率は37.9%。女性は2,240人で受診率は43.7%。年齢別では、70歳～74歳が46.8%。75歳～79歳が44.2%。65歳～69歳が43.6%であった。また、一番高い受診率は女性の70歳～74歳で、50.2%であった。一方で60歳～64歳の受診率は女性が43.5%に対し、男性は32.9%と大きな差が見られた。

問 今後は、どう展開していくのか。

答 これから取り組む健康自生地を利用した認知症予防事業は、予防を意識してプログラムに取り組む、生きがい型から目的型への転換がベースとなると考えており、そのためのツールがホコタッチとなる。こういった健康自生地で活動している方が、認知症の発症リスクを軽減できるのか健康自生地毎の活動内容と予防の因果関係まで含めた調査を、国立長寿医療研究センターと共に実施していく。



小嶋 克文 議員

老朽化ブロック塀の対策について

問 老朽化したブロック塀は、倒壊すれば通行人を死に至らしめるばかりでなく、倒壊したブロック塀は、歩行者や車の交通の妨げになり、二次被害につながります。老朽

化したブロック塀に対する対策は。

答 現状の対策は十分とは言えない。今後は、広報やホームページ等に必要な情報を掲載するとともに、現状調査については、まちづくり協議会など地域の皆さまと連携しながら、対策を検討していきたい。また、所有者に対しても、チラシ等を作成して、適正な維持管理を呼びかけていきたい。

問 通学路のブロック塀の点検は。

答 今後は、通学路の調査等においても、危険と思われるブロック塀の対策も含めて学校関係者と調整・検討を重ねてまいりたい。

問 以前、ブロック塀を撤去して生垣の設置

に対して補助があったが、現在は終了している。老朽化したブロック塀倒壊の危険性は、今後も十分に想定される。新たな補助制度の検討は。

答 県内や近隣市町で補助制度を実施している自治体などを調査し、今後の対策に取り組んでまいりたいと考えている。

災害時医療救護等に関する協定について

問 災害時、刈谷豊田総合病院高浜分院とはどのような協定を結んでいるのか。

答 現在のところ、具体的な協定は締結していません。しかし、高浜分院の移転にあたり、新しい協定書を締結してまいりますので、その協定書の中に「災害時における医療救護所の後方支援を実施する」ことを盛り込んでいくことで協議を行っています。

高浜分院は入院患者を抱えているため、常に医師や看護師がみえることに加え、治療のために必要な医薬品や医療器具も揃っています。非常用の自家発電機能を備えていることもあり、災害時における医療救護所の後方支援機能として、負傷者を受け入れることができると考えています。



内藤とし子 議員

施設の長寿命化を図るため、施設のメンテナンスを徹底せよ

問 5月24日、高取保育園のひさしのコンクリート部分が落ちた。子どもたちに怪我はなかったが、施設のメンテナン

スはどのようになっているのか。

答 連絡があり状況を確認し、業者を呼び他の部分も検査してもらって修理を依頼した。吉浜北部保育園、公立幼稚園4園、社会福祉関係2園についても優先順位を検討、業者による施設点検を行っていく。

学校の老朽化については、平成26年度に高浜中学校の校舎外壁の一部が落下した件では、建設業者による全ての校舎の打診検査を行い、その他の小中学校については平成27年度と今年度、打診検査を実施する予定である。高浜中学校は、今年度劣化の著しい箇所の防水塗装工事を実施する。それ以外の校舎の外壁等については、来

年度以降の工事实施に備えて準備を進める。

高浜小学校等整備事業について

問 市は、高浜小学校等整備事業をPFI方式で進めるとしている。PFIはこの10年余り、公共事業のあり方として進められているが、各地で事業主体の失敗例も多く、経営破たんにも陥っている所もある。検討を要するかと考えるが、どう考えているか。

答 本事業をPFI手法で実施することにしたのは、当市が自ら実施するとした場合では、施設整備段階で、一時に多額の基金の取り崩しをする必要が生ずる。この先、大規模改修が続くことになり、一定金額以上の基金残高の確保が必要である。さらに、事業者が一貫して実施することにより、最適な施設計画や施工計画が可能となる。

問 地域の企業が工事に参入しにくいPFIでは、地元の活性化についてはマイナスであり、一考を要するのではないか。

答 そうしたことも含めて、今、検討している。

本会議（定例会・臨時会）放送の視聴ができます

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生（ライブ）中継や録画中継をご覧になることができます。
- なお、録画中継は、生（ライブ）放送後、おおむね2週間以内に配信を予定しています。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずご覧ください。

PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

スマートフォン用QRコード→



ご注意ください。……………

- 視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。
- 動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。
- 視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容を、よくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

●9月定例会の日程●

日	曜	会議日程	付議事項
2日	金	本会議 第1日目	開会、市長招集挨拶、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、議案上程、説明、一部採決、報告
6日	火	本会議 第2日目	一般質問
7日	水	本会議 第3日目	一般質問
9日	金	本会議 第4日目	総括質疑、決算特別委員会設置、議案委員会付託
13日	火	決算特別委員会	付託案件審査
14日	水	決算特別委員会	付託案件審査
15日	木	決算特別委員会	付託案件審査
20日	火	総務建設委員会	付託案件審査
21日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
23日	金	公共施設あり方検討特別委員会	
30日	金	本会議 第5日目	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

（都合により、日程を変更する場合があります。）

9月定例会を 傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の年4回開催されます。
一般質問等で、市政全般にわたって議論が展開されます。
ぜひ一度、傍聴にお越しください。



新委員紹介

今号から「ぴいぶる」の編集にあたるのが、写真の我々に変更になりました。一歩ずつ、見やすい紙面をめざしてまいります。よろしくお願いいたします。

- 前列左から 神谷直子（副委員長）、浅岡保夫（委員長）、内藤とし子
- 後列左から 黒川美克、長谷川広昌、杉浦康憲、小野田由紀子

編集後記

新委員で作った、初めての「ぴいぶる」です。発行物に限らず、締め切りがなければいい仕事はできないと言えます。しかし、限られた紙面で、市民の皆様の間違わずに伝えたいことをお伝えするのは、本当に難しいということを感じています。常に最善を目指して、頑張ります。（浅）